

第54期 第2四半期のご報告

2017年4月1日～2017年9月30日

株主通信

サンコーテクノの製品は、
皆様の身近な「安全」を
支えています。

NEW



国土交通省による
新技術情報提供システム
(NETIS)に登録された
「テクノテスターAT、RTシリーズ」



PHILOSOPHY

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社是

創り、活かし、満たす
一人のお役に立つために、創造提案型企業をめざす

社訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。
それは「心の経営」です。

心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。

こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを目指しております。



「一般社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業
プログラム「倫理17000」の
第1号に認定

サンコーテクノグループ

S.T.G VISION 2020

ファスニング

私たちは 独自の締結システムで、
安全・安心を提供する モノづくり集団を追究します

5つの視点

お客様へ…

お客様の期待を超える価値創造を実践し、
“SANKO ブランド=人”を実現します

お取引先様へ…

共育・共創・共生をキーワードに
共鳴し合える関係を構築します

社会へ…

事業を通じて、安心して暮らせる
豊かな環境づくりに貢献します

株主様へ…

持続的な利益創出と株主還元により
企業価値の向上を図ります

社員へ…

自身の成長とチームの達成感(喜び)を共有できる
職場環境を構築します

S.T.G スローガン

グループ一丸となって、
人財・品質・実践力を磨き モノづくり企業を究めます

FLAGSHIP

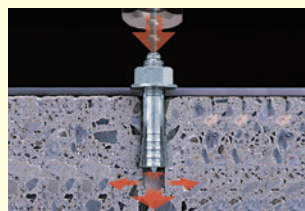
「あと施工アンカー」とは？

木材等に物を固定したり、留め付ける際に釘を使用するよう、コンクリート等に物を固定する際には「あと施工アンカー」が使用されています。

当社は「あと施工アンカー」市場においてトップシェアを維持しております。



釘



「あと施工アンカー」

「あと施工アンカー」は、街の安全と安心をサポートしております



自動販売機の固定に



フェンスの取付けに



ジェットファンの取付けに



太陽光パネルの架台取付けに

ご挨拶

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、当社の2018年3月期第2四半期(2017年4月1日～2017年9月30日)の業績と今後の取組みについてご説明する株主通信をお届けいたします。本誌を通じて、当社へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。



代表取締役社長

洞下英人

外部環境に左右されず、安定成長を実現する 基盤・体制の構築に邁進します。

2018年3月期第2四半期連結業績と通期業績・配当見通し

当社グループの2018年3月期第2四半期は、各種設備工事やインフラ・土木関連の堅調な需要を背景に金属系あと施工アンカーが伸長したほか、接着系あと施工アンカーも底入れし、更には停滞していた太陽光関連等の工事も進捗いたしました。この結果、売上高は前年同四半期比3.7%増の7,534百万円と増収となりました。その半面、鋼材価格の上昇や為替レートの変動等による影響を受け、営業利益は同1.2%減の421百万円となりましたが、引き続き堅調な需要と着実な事業の進捗を見込んでいることから、2018年3月期通期の業績見通しは、期初発表通り、売上高は前連結会計年度比5.2%増の16,300百万円、営業利益は同

6.7%増の1,200百万円を予想しております。また、2018年3月期の1株当たり期末配当金は、前期比2円増配の、22円とさせていただく見通しです。

当社グループは引き続き、長期安定成長に向けた事業展開や経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な増配を継続していくことを基本方針としてまいります。



事業環境認識

各種設備工事やインフラ・土木関連需要については、今後も首都圏および地方圏で堅調に推移する見込みであるほか、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた需要も、徐々に高まる兆しを見せ始めております。加えて、太陽光関連市場特需後の反動減の影響からも脱することができたことから、当社グループは、中期戦略として進めてきた「外部環境に左右されず、安定成長を実現する基盤・体制の構築」の成果の刈取りを本格化させるべく、各種取組みを加速してまいります。

具体的施策

主力のファスニング事業については、かねて注力しております「現場力アップ」の取組み（＝当社グループならではの付加価値を現場の最前線に深く浸透させると同時に、現場の最新ニーズや情報をスピーディに吸収し、新たな製品開発と市場の創造を加速する）を、更に徹底してまいります。上半期は地方圏で顕著な成果を上げることができまし

具体的には、土木分野を中心に実を結び始めた営業力強化の取組みを一段と拡充する一方、一部で顕在化している原材料の高騰や為替変動等の影響に対しては、引き続き製造部門での効率化や原価低減等の諸施策による対応を推進してまいります。これらの取組みを通じて、通期業績予想の確実な達成に加え、更なる業績の上積みを目指すことで、次期以降における長期安定成長軌道をより確かなものにしてまいります。

たが、今後は大規模ユーザーが多い首都圏でも同様の成果を実現するべく、今期より当社に新設したユーザーへの営業を推進する組織でありますCPM（クロスプロジェクトマネジメント）を中心に現場営業を強化しております。これにより、首都圏における当社ブランドの更なる浸透とニーズ（情報）の吸収を図るほか、大規模ユーザーの全国

土木分野を中心に伸長している「メタルセーフアンカー」



優れたゆるみ止め性能により、各種インフラや構造物の安全性に貢献しております。



高速道路の遮音壁の固定



トンネル内の照明の固定

ネットワークを通じた地方市場への波及効果も着実に取り込み、首都圏・地方圏の双方において、当社グループのシェア拡大を加速してまいります。

機能材事業については、上半期は電動油圧工具関連の国内販売が低調に推移したことが影響し減収減益となりましたが、引き続き、選択と集中を通じた事業ポートフォリオの強化に注力し、ファスニング事業と並ぶ収益の柱として育ててまいります。特に、上半期においても前年同四半期比39.7%増と力強い成長を続けたアルコール測定器分野については、今後も重点的に経営資源を投入し、従来の物流

分野に加えてバス・タクシー・鉄道分野でも拡販に取り組むほか、顧客ごとのカスタマイズやアフターサービス・メンテナンスにも注力することで、更なるシェア拡大を図ってまいります。

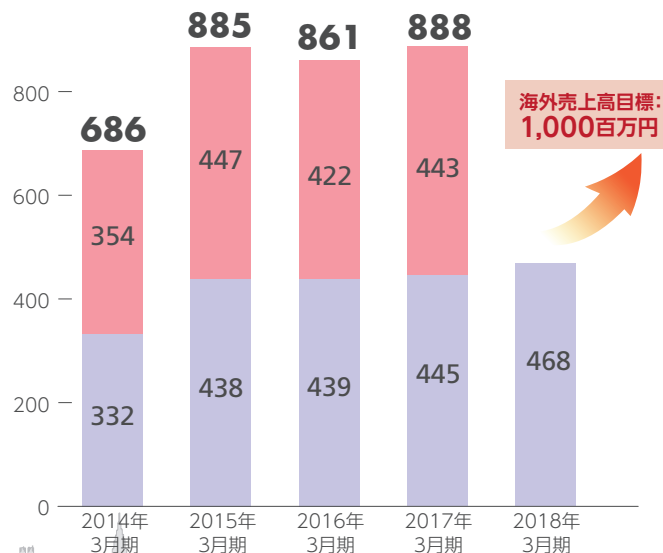
海外事業については、上半期の売上高は前年同四半期比5.2%増の468百万円となり、当社グループの海外売上高の目標である10億円の達成に向けて、着実に進捗しております。今後も東南アジアにおけるインフラ整備等を背景に「あと施工アンカー」の中長期的な需要拡大が期待できることから、タイ、ベトナム、インドネシア等への経営資源の投入やマーケティングを強化すると共に、アンカー施工ツールについても拡販に取り組むことで、現地における当社ブランドの浸透を図ってまいります。

長期安定成長へ向けたこれら国内外の取組みを支えるべく、これまで展開してきた「5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)改善活動」については、今後はより広義の「改善活動」に重心を置き、部門を越えた改善や経営資源の投下を伴う改善に向けた活動に注力してまいります。具体的には、営業部門では事務職も含めた全員が顧客満足と売上拡大に集中できる仕組みに切り替えていくほか、工場などの製造部門では、IoT化を進めることで、更なる効率化を進めてまいります。当社グループは今後も、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までの売上高成長率5.0%以上(年平均)という目標と、長期安定成長を通じた持続的な企業価値向上の実現に邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●海外売上高の推移

■ … 上半期 ■ … 下半期

(単位:百万円)
1,000 -



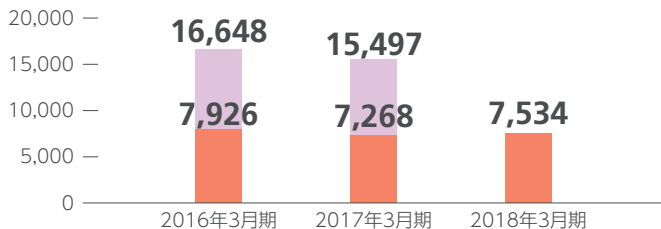
HIGHLIGHTS

連結財務ハイライト

当第2四半期は、建設市場において民間設備投資・公共投資共に底堅い動きがみられるなか、中期経営計画の重点施策である営業戦略の転換や事業ポートフォリオの強化が功を奏した一方、利益面においては、鋼材価格の上昇や為替レートの変動等による影響が一部顕在化いたしました。この結果、売上高は7,534百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益421百万円（同1.2%減）、経常利益424百万円（同5.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は264百万円（同4.7%増）となりました。

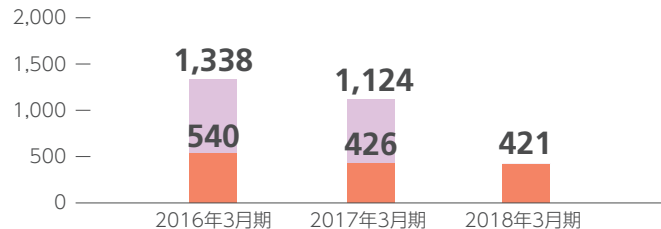
売上高

(単位:百万円)



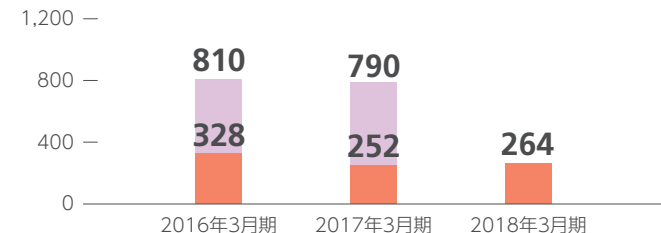
営業利益

(単位:百万円)



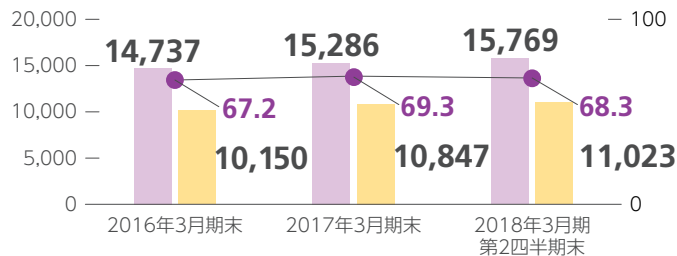
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



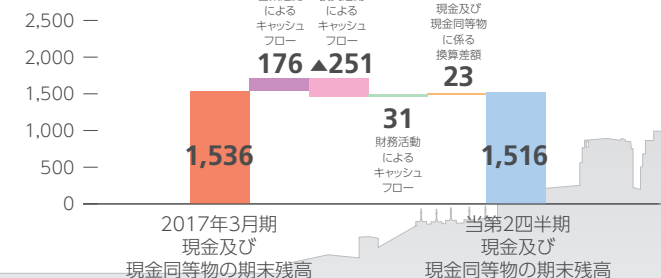
総資産・純資産・自己資本比率

(単位:百万円)



連結キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)



2018年3月期通期業績予想

売上高	16,300百万円
営業利益	1,200百万円
経常利益	1,190百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	800百万円

OVERVIEW セグメント別概況

ファスニング事業

各種設備工事等の需要回復に伴い、主力製品である金属系あと施工アンカーの販売が堅調に推移したほか、耐震工事等の減少により低迷していた接着系あと施工アンカーの販売が底入れし、停滞していた太陽光関連等の工事が進捗するなど、総じて順調に推移いたしました。この結果、当セグメントの売上高は5,760百万円(前年同四半期比5.3%増)、セグメント利益は682百万円(同6.2%増)となりました。

●アンカー関連

- 金属系アンカー
- 接着系アンカー
- その他のアンカー類

●ドリル・電動工具関連

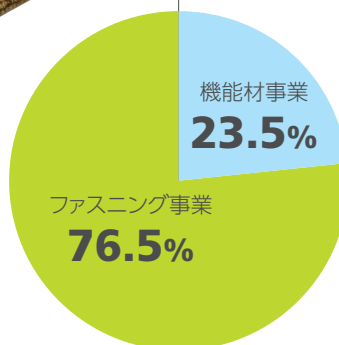
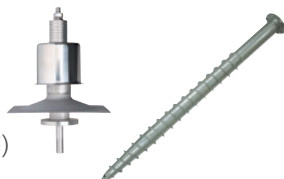
- 大口径・小口径ドリル
- アンカー施工工具
- 確認試験機

●ファスナー関連

- サイディング用ファスナー
- ルーフィング用ファスナー

●工事関連

- 太陽光関連
- 建築関連(耐震補強工事)
- 土木関連(一面耐震補強工事等)



機能材事業

アルコール測定器の販売及び電子基板関連の販売が好調に推移いたしました。一方、電動油圧工具関連は、国内販売が低調に推移いたしました。この結果、当セグメントの売上高は1,773百万円(前年同四半期比1.4%減)、セグメント利益は213百万円(同5.2%減)となりました。

●FRPシート関連



●各種測定器、電子プリント基板関連



●電動油圧工具関連

- 鉄筋カッター
- 鉄筋ベンダー等



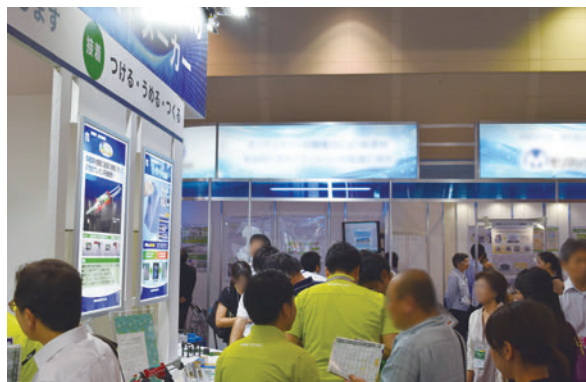
加工機械・材料の総合展

「接着・接合EXPO」に出展

機能材事業では、紫外線硬化型FRPシート「e-シートウィック」、高性能ウレタン系接着剤「オートグリップ」を出展、ファスニング事業では、ワンサイドファスナー「ストラタイト」「クロスタイト」、薄銅板締結用ファスナー「トガリス」「パッチスクリュー」を出展いたしました(2017年4月/東京ビッグサイト、9月/インテックス大阪)。



東京ビッグサイト



インテックス大阪

製品情報

国土交通省・新技術情報提供システム (NETIS) に登録

施工現場でアンカーボルトの締結を確認するための試験機「テクノテスターAT、RTシリーズ」が、引張荷重の一体型試験測定システムとして、国土交通省・新技術情報提供システム (NETIS) に登録となりました(2017年4月)。



ATタイプ
アンカー非破壊
引張試験機



RTタイプ
接着力・付着力
引張試験器

業務効率化と拡大へ向けて

2017年5月 新ものづくりテクニカルセンター完成

経営資源の集約や業務の効率化・拡大を目的として、流山事業所の管理部門と機能材本部、株式会社スイコー(営業・資材部門)を集約いたしました。

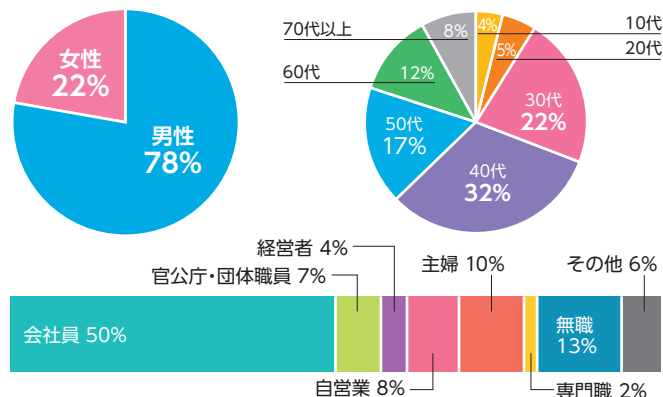


新ものづくりテクニカルセンター

QUESTIONNAIRE RESULTS 株主様アンケート結果のご報告

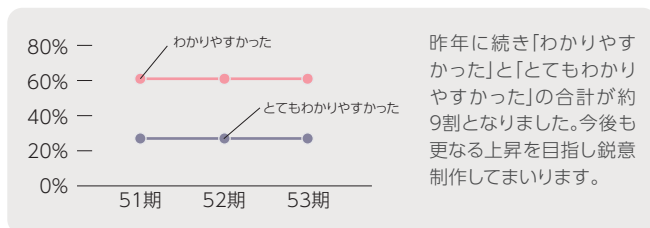
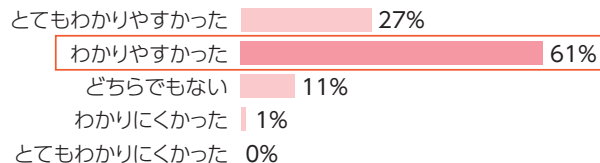
本誌「株主通信」第53期事業のご報告において実施させていただきました「株主様アンケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。
以下に、アンケート結果の一部をご報告いたします。

ご回答者様の属性等

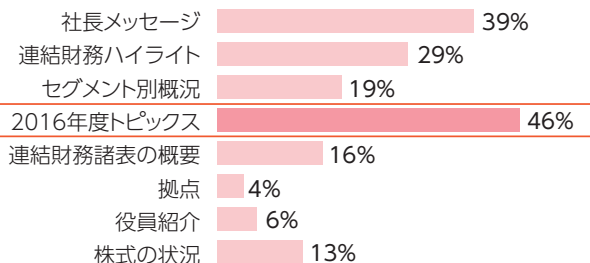


アンケート回答結果

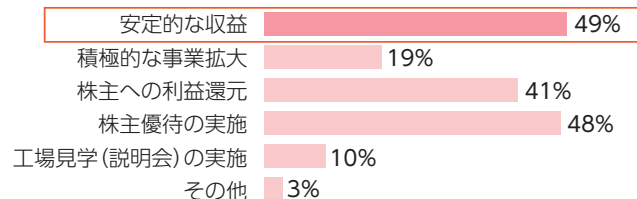
Q1 今回の株主通信のご感想はいかがですか？



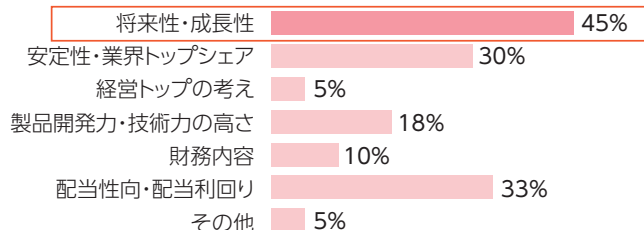
Q2 特に興味を持ったページはどこですか？（複数回答可）



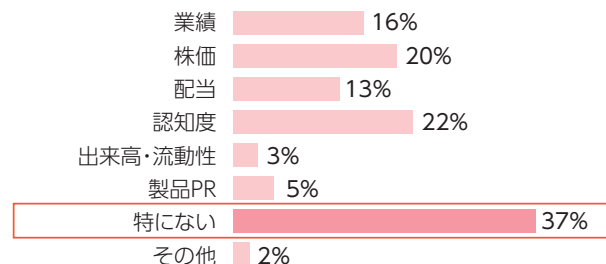
Q3 今後、当社に何を期待しますか？（複数回答可）



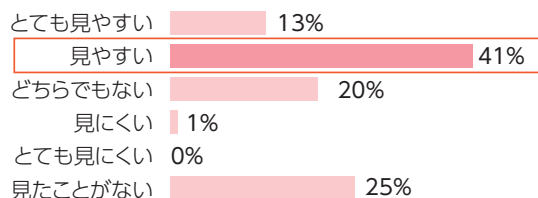
Q4 当社株式の購入理由は何ですか？（複数回答可）



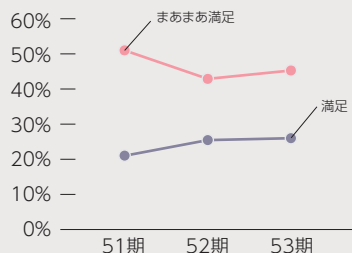
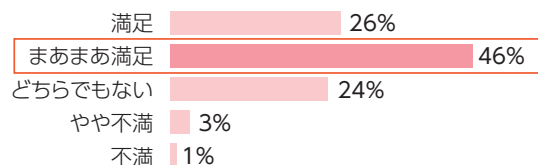
Q5 当社に対する不満はありますか？（複数回答可）



Q6 当社ホームページ、IRサイトについて ご感想はいかがですか？



Q7 当社のIR活動についての評価を教えてください



昨年に比べ「まあまあ満足」が4ポイント増加、「やや不満」が2ポイント減少となり、全体的な満足感が上昇する結果となりました。引き続き更なるご満足をいただけるよう、IR活動の向上に取り組んでまいります。

役員 (2017年9月30日現在)

代表取締役社長	洞下 英人
取締役副社長	佐藤 静男
常務取締役	洞下 正人
常務取締役	八谷 剛
社外取締役	佐藤 靖
取締役 (常勤監査等委員)	鈴木 英雄
社外取締役 (常勤監査等委員)	松岡 省一
社外取締役 (監査等委員)	塙 善光

株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	34,000,000株	株主総数	3,154名
発行済株式の総数	8,745,408株	単元株主数	2,066名

大株主 (2017年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
洞下 英人	1,155	13.21
東京中小企業投資育成株式会社	720	8.23
有限会社サンワールド	680	7.77
サンコーテクノ社員持株会	394	4.50
新井 栄	262	2.99
洞下 照夫	215	2.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	214	2.45
株式会社みずほ銀行	178	2.03
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	169	1.93
佐藤 静男	166	1.89

(注) 1.千株未満は切り捨てて表示しております。 2.当社は自己株式(593千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

IR情報はこちらをご覧ください

[サンコーテクノ](#)

[検索](#)

[⇒ トップ画面 ⇒ IR情報](#)



INFORMATION



株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人特別 口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.sanko-techno.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故、その他やむを得ない 事由によって電子公告をする事ができない場合 は、日本経済新聞に掲載いたします。

会社概要 (2017年9月30日現在)

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	304名(連結562名)
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535 FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 りそな銀行 千葉銀行 三井住友銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材(あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等)、複合 材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入
連結子会社	株式会社IKK SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社スイコー アイエスエム・インタナショナル株式会社
持分法適用 関連会社	株式会社サンオー
持分法非適用 関連会社	株式会社イーオプティマイズ

証券代行お問合せ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券: 本店および全国各支店、プラネットブース (みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行: 本店および全国各支店* ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行*およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続 お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。